

食品の自主回収及び苦情相談等について(令和7年(2025年)10月分)

(1) 食品の自主回収について

熊本市保健所管内の「食品等の自主回収」の情報はありませんでした。

全国の詳細については厚生労働省のホームページ内の「[自主回収報告制度\(リコール\)に関する情報](#)」をご覧ください。

(2) 食品等に関する苦情相談

熊本市保健所では、消費者等からの「食品等に関する苦情相談」を受けています。

令和7年(2025年)10月分の事例の中から紹介します。

	相談内容	対応等
1	使い捨て手袋を交換していない店がある	【相談内容】 利用した店の店員が、サンドイッチを作るときもレジの時も同じ手袋を使用している。手洗いもあまりしていないようだ。 【保健所からの指導】 作業工程を変えるごとに手洗いを行うこと。使い捨て手袋は適切に交換すること。
2	飲食店の店内にゴキブリ	【相談内容】 利用した飲食店で客席テーブルの上やグラスのふちにゴキブリのような虫がいた。 【状況確認】 厨房内にダンボール、新聞紙、空き缶が放置されている。その周辺や冷蔵庫内に複数の虫を確認。 【保健所からの指導】 不要なダンボール、新聞紙、空き缶などは処分し、厨房内の整理をすること。 作業台、冷蔵庫は定期的に清掃すること。

【参考】あなたは大丈夫ですか?~使い捨て手袋最強説~

「手袋をしていれば安心!」と思っていませんか?
使い捨て手袋を着用するだけでは衛生管理は保証されません。

■なぜ手袋だけでは不十分なのか?

- ・ 手には食中毒の原因となる細菌やウイルスが残っています。
- ・ その手で手袋をはめると、手袋の外側に細菌やウイルスが付着し、手袋を介して汚染が広がる恐れがあります。

使い捨て手袋の正しい使い方のポイント

1. 手洗いは必須
 - ・ 手袋をつける前にはしっかり手洗いをしましょう
2. 交換のタイミングを守る
 - ・ 作業が変わるとき、食品以外に触れたとき、
 - ・ 手袋が破れたり汚れたりしたとき
3. 手袋を過信しない
 - ・ 手袋は万能ではありません。清潔な手で着用することが基本です。